



I C A N N 76 政府諮問委員会 (GAC) 会合報告

2023年4月12日

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課

課長補佐 望月 俊晴

目次

1. 政府諮問委員会（GAC）会合の概要
2. 会合での主な議題
 - （1）DNS不正利用
 - （2）新gTLDの次回ラウンド
 - （3）登録者情報の開示システム
3. その他



会場：Cancun Center

1. 政府諮問委員会（GAC）会合の概要

① 開催日：2023年3月11日（土）～3月16日（木）

② 開催地：Cancun @ Mexico

→ 現地とオンラインのハイブリッド開催

総務省（データ通信課）から、望月課長補佐及び玉置官が現地参加
西潟課長、森下官が主要なGACセッションにオンライン参加

③ 参加国・機関：181の国・地域、38の団体（オブザーバー）が参加

④ 会合における主な議題

（1）DNS不正利用

（2）新gTLDの次回ラウンド

（3）登録者情報の開示システム



2. 主な議題 (1) DNS不正利用

1. これまでの経緯（日本の関わり方）

- 日本は、まんが海賊版対策の一環として、ICANN70（2021年3月@オンライン開催）以後、海賊版サイトのドメインホッピング※1に関する問題提起や対応の方向性について提案してきた。
- 前回会合（ICANN75（2022年9月@Kuala Lumpur））では、DNS不正利用セッションにおいて現地でプレゼンを行い、ICANNとレジストラとの間の認定契約（RAA）の条項について、現状の改善に向けた議論の必要性を指摘した。

※1 不正行為者がその行為を継続するため、同じレジストラから異なるドメインを取得する行為

2. 今回のセッション概要等

- セッションの前半、DNS不正利用の現状等についてプレゼンテーションが行われ、Internet and Jurisdiction Policy NetworkのBertrand de la Chapelle事務局長から、DNS不正利用に対する技術的な対応の取組みなどに関するプレゼンテーションが行われた。
- ICANN理事会とCP(Contracted Parties：契約当事者)※2との間で、2022年12月にRAやRAAの条項の改善(improvement)に向けた交渉が開始されたことが紹介され、交渉の進捗の現状が共有された。ICANN77（2023年6月）の前に改善案に対するパブリックコメントが実施される予定。
- 日本からは、ICANN理事会とCPの取組を歓迎し、今後の方向性に対する支持を表明。（海賊版行為を含む）違法行為の報告に対するレジストラの対応については、RAAの条項3.18.1に定める「合理的かつ迅速な調査と対応のための措置」が行われていない現状を指摘し、あらためて本条項の解釈の明確化や条項の改善の必要性を主張した。
- GACコミュニケ（成果文書）においては、上記の日本からの主張も取り入れられ、（レジストラに対する）契約上の義務の改善等に向けて取組を継続することの必要性等について記載された。

※2 GNSO（一般名称ドメイン名支持組織）にあるレジストリやレジストラが所属するグループの総称

2. 主な議題 (1) DNS不正利用

3. ICANN76 GACコミュニケ (該当箇所抜粋、仮訳)

IV. Issues of Importance to the GAC

2. DNS Abuse

The GAC welcomes the fact that the Contracted Parties proactively initiated contract negotiations with ICANN to improve existing obligations related to Domain Name System (DNS) abuse.

The creation of effective and enforceable requirements for registrars and registries to disrupt or mitigate DNS abuse will represent a positive and concrete first step in addressing this important topic area at ICANN.

The GAC considers that continued efforts in this area will be required, including further improvement of contractual obligations (略) prior to the launch of a second round of New generic Top Level Domains (new gTLDs).

GACは、契約当事者がドメインネームシステム (DNS) の不正利用に関する現在の義務を改善するために、ICANNとの契約上の交渉を積極的に開始した事実を歓迎する。

レジストラ及びレジストリがDNSの不正利用を阻止または軽減するための効果的で強制力のある要求を作成することは、ICANNにおいてこの重要なトピックの分野に対処するための前向きで具体的な第一歩を意味する。

GACは、新gTLDの第2ラウンドの開始に先立ち、契約上の義務等のさらなる改善を含むこの分野での継続的な取組が必要であると考える。

2. 主な議題 (2) 新gTLDの次回ラウンド

1. これまでの経緯

- gTLDの次回の新規申請に向けたポリシーの策定について、2022年1月、ICANN理事会は、事務局に対し、GNSOが策定した最終報告書に関する運用設計評価書の作成を指示。事務局は、当該最終報告書を精査し、同年12月、理事会に対し運用設計評価書を提出。
- この中で、“Closed Generics*”については、評価書においては議論を継続することとされる一方、2023年1月、ワシントンDCにおいて、GNSO、GAC、ALAC及びICANN理事会の有志が集まり、今後の扱いについての議論が行われた。
※ 一般的な名称等を示す文字列からなるドメイン名のこと。2012年のラウンドでは、Closed Genericsの申請は行われなかった。

2. 今回のセッション概要等

- ICANN事務局から提出された運用設計評価書の内容について報告がなされた。
例：次回の申請については、①従来どおり1度にまとめて受け付ける、②申請時期を複数回に分けて行う、の2つの方法が提案されている。
- ICANN理事会は、ICANN76の会合期間中に、当該評価書の内容も踏まえ、当該最終報告書に記載されたICANN理事会に対する勧告を全て採択。その上で、事務局に対し、2023年の8月1日までに当該最終報告書に基づくポリシーの実行計画の提出を指示。
- この他、ICANN77（2023年6月）までに、次回の申請におけるClosed Genericsの取扱いに関する枠組みが提示される予定であるとの情報共有があった。

2. 主な議題 (3) 登録者情報の開示システム

1. これまでの経緯

- SSAD※1システムの運用に関するポリシー策定(EPDP Phase2)について、2022年1月、ICANN事務局は、ICANN理事会に対し、GNSOが策定した最終報告書に対する運用設計評価書を提出。当該評価書では、最終報告書の内容に対し、運用開始までの準備期間が5年以上と長期なこと、システムに要する費用が高額なことから、その代替案が示されたところ。
- 事務局の代替案は、“Simplified WHOIS Disclosure System” と呼ばれ、ICANNアカウントや Naming Services portal (ICANNとレジストリ・レジストラを繋ぐサービス) など既存のシステムを利用するものであり、最終報告書に記載されたSSADシステムと比べて運用開始までの準備期間が2年ほどと短く、費用も抑えられるシステムとなっている。
- ただし、当該代替案においては、レジストラ※2に登録者の情報をシステムへ提供することを要請する一方、この枠組みへのレジストラの参加は「任意」とされていることなど、継続して議論すべき点が残っている。

※1 System for Standardized Access Disclosureの略。

※2 レジストリは、情報開示の要請の対象から外れている。

2. 今回のセッション概要等

- 最終報告書を策定したGNSOは、ICANN事務局が提案した上記代替案（“Registration Data Request Service”へと名称変更）に対する支持を表明。
- この他、ICANN理事会は、GNSOに対し、より多くのレジストラがこのシステムの運用に積極的に参加するための方策の検討を要請。

3. その他

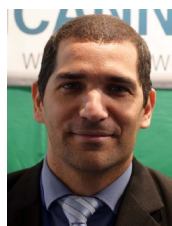
1. GAC議長及び副議長選挙

- GAC副議長の欠員 (Shi Young Chang氏 (韓国、インターネット振興院 副研究長) が2023年1月に辞任を表明したことによるもの) に伴い、副議長の補欠選挙が実施され、WANG Lang氏 (中国、CNNIC国際部副主任) が選出された。ICANN76 (2023年3月) 終了後の体制は以下のとおり。

- 議長：任期2年、連続2期まで再選可能
- 副議長：任期1年、連続2期まで再選可能

議長 (2023年3月~2025年3月) (任期 2年)

<新規>



Nicolas Caballero
(Paraguay)

情報通信技術省
技術イノベーション顧問

副議長 (2023年3月~24年3月) (任期 1年)

<現職>



Francis Olivier
Cubahiro
(Burundi)
ICTインフラ部門長

<現職>



Ola Bergstrom
(Sweden)
郵政通信機関
国際部門長

<新規>



Nigel Hickson
(United Kingdom)
DCMS データ保護
シニアアドバイザー

<新規>



Zeina Bou Harb
(Lebanon)
Ogero国際協力部門長

<新規>

(ICANN76期間中に選出)



WANG Lang
(China)
中国のGAC副代表
CNNICの国際部副主任

2. Manal Ismail議長の退任

- 2017年10月から5年5ヶ月間GAC議長を務めたManal Ismail氏が、ICANN76をもって議長職を退任。GACのWrap-upセッションでは、各国のGACメンバーからManal議長への感謝のメッセージが述べられた。

3. その他

3. 現地の様子



ご清聴ありがとうございました

